

この度、ボランティア・スピリット賞の首都圏ブロックで、私は「めぐるう」での活動でコミュニティ賞という賞を受賞しました。コミュニティ賞とはボランティア・スピリット賞に応募した個人・団体の内、全国150組に贈られる賞です。首都圏ブロックでは26組の内の1つに選出されました。「めぐるう」をより多くの方々に知っていただく良い機会になりました。



▲授賞式にて



▲トーゴ大使館取材の様子

この1年間にあなた個人もしくはグループで行った具体的なボランティア活動の内容

私は中高生タウン誌「めぐるう」で2年間、編集長を務めさせて頂きました。「めぐるう」とは目黒区内に在住・在学している中高生から編集員を公募し、目黒区の良さを中高生から発信するフリーマガジンです。今年で10年目を迎えます。現在は計49名が在籍しています。中高生が協力し合いながら月に1回編集会議を行っており、毎年3月末に発行しています。昨年制作した第9号の発行部数は7000部で、区内公立中学校（9校）、区内にある都立高等学校（3校）、区内児童館・図書館・社会教育館などへ配布されました。

9号では「30歳 & 90歳（かくれんぼ）」をテーマに目黒の隠れた魅力を発見・発信するため様々な企画を実施しました。私が企画したものとしては目黒区を3つのコースに分けて直接探検した「めぐるう散歩」、目黒区の学校紹介をする「文化祭訪問」などです。また、他の編集員が企画したトーゴ大使館への訪問や文部科学省が主催し国立青少年教育振興機構が実施するプログラムの一環で、目黒区で毎年行っている来日した韓国の高校生と放課後を過ごす「日韓高校生交流」、目黒区にある企業やイベントな

どへも取材をしました。そして、一昨年発行した第8号内の同世代の中高生へインタビューやアンケート調査記事のテーマ「中高生の声を区に届けよう」のもと、引き続き中高生ならではの目線でユニークな質問を取り入れた「中高生アンケート（中高生が中高生に聞きたい「隠れた魅力、探求します!!」）を実施し、結果を広く区民に知らせ、それぞれの取材で得た目黒区の良さを誌面にしました。編集長として編集会議の統括など全体をまとめました。

その活動を始めたきっかけ、背景

「めぐるう」発足のきっかけは、目黒区こども条例（平成17年12月1日交付）で子どもが参加できるまち（第12条）を踏まえ、目黒区が策定している「目黒区子ども総合計画」という子どもが元気に過ごすことができるまちづくりを具体的にすすめるための事業の一環でその中高生の参加をすすめる活動として生まれました。

中学生・高校生の視点で目黒区の魅力を発信していくフリーマガジンとして、平成20年度にスタートしました。オリエンテーションや講習を経て、編集作業（企画・取材・編集・発行など）を中高生自らが行うことを通して、様々な人と出会い、コミュニケーション力を磨き、自らの思いや企画を発信する力を身につけていくことを目的にしています。

私が「めぐるう」に入った動機は単純に将来、編集者になりたいからです。9号の私が企画した記事のきっかけは、私や一部の編集員が目黒区に住んでいないことでした。目黒区に在学しているけど実際どんなところなのか、もっと知りたいから「実際に目黒区を歩こう」と思い、企画しました。文化祭企画は過去の「めぐるう」でも行ったことがある

と知り、自分の学校を紹介したく、他の学校も見に行ってみたかったので企画しました。またトーゴ大使館企画では私が学校で国際交流部に所属しており、部活でお世話になったという経緯から実現した企画でした。アンケートは8号の時、区が策定した「目黒区子ども総合計画」を私たち自身が知らなかったのでもこの内容を広め、私たちの世代の声を区に届けるため実施しました。

直近の2年間の活動の中で工夫したことや達成したことまたその過程で苦労したこと

特に大変だった点は2つあります。1つ目は最初、自分が口下手だった点です。私は一昨年と昨年に製作した8号・9号で編集長を務めさせて頂きました。周りに将来の夢を語っていたのと、心から楽しんでいたら、入ってから3か月もしないうちに周りに「編集長をやってみないか」という声が上がりました。嬉しかったものの、人と話すのが得意ではないのでいきなりトップになることとは不安が大きかったです。編集長がどういう仕事なのかかわからず加えて口下手なので相手に自分の言いたいことが伝わりづらい場面もありました。しかしそれでもみんなが「編集長」と慕ってくれて、それぞれ担当の記事にきちんと責任をもってくれたので8号が発行されました。編集員たちとの交流に加え、取材をたくさん重ね、おかげで以前よりは良く話せるようになりました。

2つ目は、8号と9号との違いです。8号では目黒区の紹介というより編集員が取材してみた所に赴いた号でした。そこで、9号では目黒区を改めて見つめ直し、新たな発見をしていくことになりました。「めぐるう散歩」や「カルタ制作」という今までの